

市民の満足度ランキング

↑ 昨年度より20%以上良くなった4項目

- ◇税や使用料など市民負担についての理解 **54.5%** (27.3%増)
- ◇リサイクルに努めているまち **63.5%** (22.3%増)
- ◇都市機能が充実しているまち **26.6%** (21.3%増)
- ◇健康管理に気をつけている **78.4%** (21.0%増)

↓ 不満である割合が80%を超えて高かった4項目

- ◆まちの中心部にぎわい・商業・サービス機能が充実 **93.7%**
- ◆商店街への魅力 **88.5%**
- ◆老後の暮らしへの不安や心配 **85.7%**
- ◆外国の人々との交流の機会 **80.9%**

今年度の順位	昨年度の順位	調査項目	今年度の数値	昨年度の数値
1	1	- 留萌の文化・歴史を大切にしたい	78.5%	61.3%
2	2	- 健康管理に気をつけている	78.4%	57.4%
3	3	- 自然と調和がとれたまち	72.9%	56.2%
4	8	↗ リサイクルに努めているまち	63.5%	41.2%
5	7	↗ 地元産品を意識して買い物をしている	57.4%	42.1%
6	14	↗ 広報誌が読みやすくわかりやすい	56.5%	38.6%
7	24	↗ 税や使用料など市民負担についての理解	54.5%	27.2%
8	23	↗ 市役所の職員を信頼している	46.6%	27.4%
9	15	↗ 留萌の景観・景色・眺めはすばらしい	44.4%	38.4%
10	34	↗ 地産地消が推進されている	41.3%	21.9%

「税や使用料の市民負担についての理解」大幅に増える

昨年度より大幅に良くなった項目に「税や使用料など市民負担についての理解」が挙げられます。昨年は27.2%だった数値が、今年は54.5%と2.7倍に伸びています。この結果は、財政健全化計画が皆さんにご協力をいただきながら順調にすすんでいることから、理解度が増えたと考えられます。

地元産品を意識して買い物をしている人の割合が15.3%増の57.4%に増え、地産地消への意識付けがさらに強まっている傾向がみられます。

健康管理に気をつけている人も21.0%増の78.4%で、「もう健康の駅」の事業効果もあり、市民の意識が定着しつつある傾向がみられます。

一方で現在の暮らしに不安や心配を感じている人が21.1%増の77.3%となっており、また、老後の暮らしに不安や心配を感じている人の割合も1.7%増の85.7%と、ともに高くなっています。これは、国全体の景気低迷が著しい中、各家庭における消費経済へ与える影響や、社会保障制度に対する不安から、将来の生活設計が描きにくくなっていることが要因として考えられます。

特集 1 平成24年度市民アンケート

留萌市の新たなまちづくりの指針として平成19年4月からスタートした第5次留萌市総合計画が、平成23年で前期5年の計画を終え、平成24年4月からは後期5年の計画が始まっています。

この総合計画では、全体テーマを「誇りと満足を目指すみなとまち留萌」として、市民の一人ひとりがこのまちに誇りを持ち、笑顔でいきいきと生活できること。そのために、わたしたちが忘れかけていた人と人との絆を深め、地域の地力を発揮し、留萌の自然と風土を愛し、潤いと活力のある暮らしを作っていきたいと考えています。

この総合計画に基づき、市役所の仕事、市民の暮らしや営みに、どんな成果を出せたのかを見極め、これからの仕事の内容を見直すために、毎年アンケートを実施しています。

今年度の調査は、設問項目の見直しや対象を限定した個別のアンケート

トをそれぞれの課が実施することで設問を少なくし、昨年同様に意識調査と満足度調査を一体化した調査票様式により実施しました。

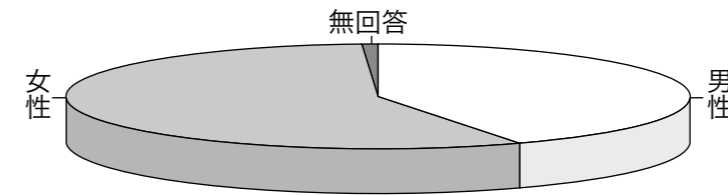
平成24年度市民アンケート

- 調査対象 満16歳以上の留萌市民 1,000人
- 調査期間 平成24年5月11日～24日実施
- 調査方法 郵送による配布及び回収
- 調査内容 市民の満足度調査51問・市の仕事の優先度調査76問
- 回収件数 342件
- 回収率 34.2%

回収率は、昨年度の37.9%を37件下回る、342件の回答があり、3.7%減の34.2%となっています。年代別の構成としては、10代、20代、30代及び50代がそれぞれ増加しており、40代、60代、70代以

あなたの性別は？

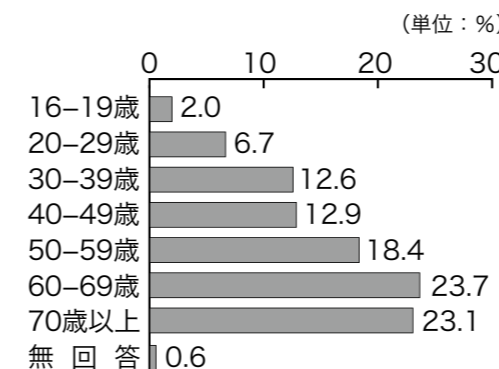
	人数	構成比
男性	146	42.7%
女性	194	56.7%
無回答	2	0.6%
合計	342	100%



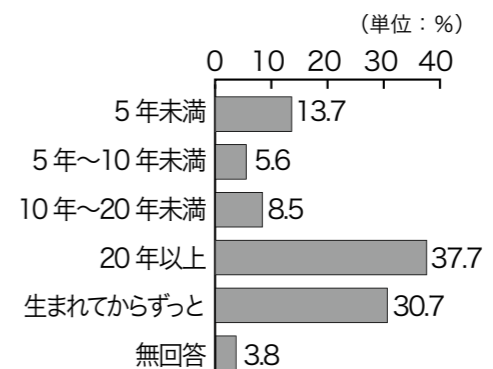
上それぞれ減少しました。特に50代は3.0%増、60代は1.9%減となっており、前回と比べて大きく変動しています。

回答者の属性

あなたの年齢は？



あなたの居住歴は？



市民参加の市政を進めるために毎年アンケートを実施しています。平成24年度の集計結果を報告します。

今年の市のテーマは 留萌観光・感動物語

市では昨年度の「子ども夢物語」に続き、今年度「留萌観光・感動物語」をテーマとして、地域経済の活性化、安心安全なまちづくり、子どもたちの夢と可能性が育つまちづくり、健康で笑顔あふれるまちづくりの重点的な取り組みを進めています。

観光・感動物語を推進するにあたり、留萌の自然や食と連携しながら賑わいを創り出し魅力を発信します。留萌らしさを活かした観光地づくりとして留萌に来てもらう、おもてなしの気持ちを大切に観光振興を進めます。また、観光の受け入れ基盤である観光施設の充実を図り観光を支える人材の育成にも努めます。

今回の満足度アンケートの中にも留萌の魅力や歴史・文化、自然環境の保護、港を活かしたまちづくりなど留萌の観光につながる設問があり、すべての項目が昨年より向上した結果となりました。

今年度の観光・感動物語を推進することにより、市民自らが留萌の魅力を発信し、おもてなしの気持ちを持つことにより、まちが活性化し、さらなる市民満足度の向上に繋がるよう取り組んでいきます。



うまいよ！るもい市 留萌市地方卸売市場

魅力の再発見と創造

- ❖観光に対する機運が高まっていると感じる
26.6% ↗ (昨年 8.8%)
- ❖手軽に楽しめる観光レジャーやイベントを楽しむ機会がある
22.3% ↗ (昨年 10.2%)
- ❖外国の人々と交流する機会がある
9.9% ↗ (昨年 5.0%)

年に数回、開催される「うまいよ！るもい市」。市民はもとより、市外から多くの観光客が訪れます。

郷土の文化・歴史の伝承

- ❖留萌の文化・歴史を大切にしたい
78.5% ↗ (昨年 61.3%)
- ❖郷土文化や歴史が十分に伝承されている
23.2% ↗ (昨年 15.0%)

留萌の文化を象徴するもののひとつ ニシン。夏の一時期には番屋は一般公開され、解説もあります。



旧留萌佐賀家漁場
国指定重要有形民俗文化財・国指定史跡



礼受牧場 風車と菜の花畑

自然環境の保護と緑の整備

- ❖海や山など自然と調和がとれたまちだと思う
72.9% ↗ (昨年 56.2%)
- ❖公園の緑地、広場、子どもの遊び場などが充実している
26.6% ↗ (昨年 13.6%)

6月には菜の花が咲き、一面黄色のじゅうたんを敷いた風景の中、家族連れで賑わいました。



客船「ばしふいっくびいなす」留萌港寄港
(2012年6月28日)

港を活かしたまちづくり

- ❖留萌港に魅力や親しみを感じる
25.2% ↗ (昨年 16.8%)
- ❖港を活かしたまちづくりが進められている
11.0% ↗ (昨年 8.0%)

北北海道の玄関口「留萌港」。6月28日は「ばしふいっくびいなす」が、7月3日には「にっぽん丸」が相次いで寄港しました。

市の仕事の優先度ランキング

今年度の順位	昨年度の順位	大まかな市の仕事	細かな市の仕事	今年度の数値	昨年度の数値	
1	1	-	都市機能の充実	にぎわいのある中心市街地の再生	50.0%	54.6%
2	4	↗	安心できる地域医療の充実	信頼される医療サービスの提供	49.1%	50.1%
3	2	↘	市民生活の基盤づくり	効率的な除排雪	47.7%	50.4%
4	7	↗	地産地消と一次産業の推進	地場製品の消費拡大	46.5%	45.6%
5	10	↗	安心できる地域医療の充実	地域医療の充実	44.7%	43.8%
6	15	↗	地域産業の育成と支援	魅力ある商店街の再生	44.4%	37.5%
7	12	↗	魅力の再発見の創造	新たな観光・イベントの創造	43.9%	40.1%
8	2	↘	地域産業の育成と支援	雇用・労働の確保	43.6%	50.4%
9	8	↘	市民生活の基盤づくり	ごみの減量・資源化	43.0%	45.1%
10	6	↘	健康の維持と増進	予防や健康づくりの推進	42.4%	47.5%

求められる中心市街地の再生と魅力ある商店街

市民アンケートでは、満足度調査とともに、市の仕事を細かく76種類に分け、優先すると思う仕事に○を付けていただく「市の仕事の優先度調査」も行いました。

昨年に引き続き今年度も優先度が高かったのは、にぎわいのある中心市街地の再生で、昨年とほぼ変わらない50%の方々が市の仕事の最優先にと選んでいます。それに付随するように昨年15位だった魅力ある商店街の再生が6位に入り、市民がまちの活性化を強く望んでいる想いが表れています。

一方、昨年5位の総合的な防災体制の確立は14位に、9位の財政の健全化が15位と順位を下げています。防災に関しては、東日本大震災から一年が過ぎたことで市民の意識が薄らいできたのではないかと推察されます。市民アンケート結果は、市ホームページで公開していますので、ご覧ください。

「留萌のまぜじゅんや将来に ついての意見」一部抜粋

- 回答数342件中記述100件
- 市内でも「買い物したい」と思える街づくりをしてほしい。
 - ぶるもの再開を希望します。
 - 子どもを安全に遊ばせる場所が少ない。
 - 老後の暮らしが自分たちで生活していけるか、留萌の街の中で買い物、病院までの乗り物もつと年の人に良い方法であってほしい。
 - 高齢者が増えてきていますが、自分たちが定年後に生きていけるか不安です。
 - 地元物産を他の地域に知ってもらうため、道の駅があればよいと思う。米、野菜、果実、魚と自慢できるものがない。

特集①

安心、充実のまちづくりができるようアンケート結果を活かし、市政運営に反映させていきます

政策調整課

☎42-1809
本庁舎 2階